

# らぶ Sports@

12/28号  
スポーツを愛する市民の宝庫  
いわき民報

らぶ@スポ編集部

Selection

## 2011 心に残るいわきのスポーツ 10のニュース

東日本大震災、原発事故に見舞われた2011年。深い悲しみとともに、忘れることのできない記憶として皆さんの心に刻まれていくと思います。3.11以降、一時休載を余儀なくされた「らぶ@スポーツ」も5月11日付で復活。以前のような情報量を掲載することはできませんでしたが、心を紡ぎ、スポーツを通して元気を取り戻そうとする皆さんの姿を伝えてきました。今年最後の掲載にあたり、1年を振り返って心に残るニュースを選んでみました。来年もスポーツを愛する皆さんと共に「らぶ@スポーツ」は歩いていきます。

### ② サンシャインマラソンに6128人 フルマラソン女子総合で地元の大谷選手がV

第2回いわきサンシャインマラソンが2月13日に開かれ、6128人のランナーが早春のいわき路で健脚を競った。いわき陸上競技場と小名浜港アクアマリンパークを結ぶ42・195キロで行われたフルマラソンには3565人が出場し、制限時間の6時間以内で3186人が完走。沿道からの熱心な応援を力に変え、風光明媚(めいび)なサンシャインロードを駆け抜けた。各部門の優勝争いは白熱。このうち女子総合では、前夜祭で選手宣誓の大役を務めた湯本高出身の太谷瑠美選手が3時



間を切る2時間56分17秒で優勝。両手を挙げ、感動に酔いしれながらゴールに飛び込んだ。第3回大会は来年2月12日に開かれる。

### ① 当たり前の日常が尊いものであることを教えられた大震災 数多くの支援を忘れず、感謝を胸に刻んでスポーツを楽しむ心を持ち続けたい



3月11日に発生した東日本大震災、さらには東京電力福島第一原子力発電所の事故は市民からスポーツを楽しむ環境を奪った。市内の公共体育施設、学校の体育館は避難所となり、市民運動場はがれきの集積場に。加えて、度重なる余震、原発事故に伴う放射能汚染問題が深刻化し、屋外活動が制限される事態となった。チームは活動場所を失い、各競技の大会は相次いで中止。避難を余儀なくされ、仲間と悲しい別れをしなければならぬ子供たちの姿もあった。心と体に深い傷を負った市民、そして暗いトンネルの中をさまよ

ういわきのスポーツ界を救ったのは心温まる数多くの支援だった。「Qちゃん」とマラソンランナーの高橋尚子さんをはじめ、アントニオ猪木さんら数多くの著名人が来市し、避難者や子供たちとふれあった。元気をもらった市民は前を向いて前進し、少しずつスポーツを楽しむ心のゆとり、環境を取り戻した。

当たり前の日常が尊いものであることを教えられた。今は、スポーツができる環境があることに感謝しなければ。来年も、これからもずっと。今年経験した悲しみ、怒り、喜びを忘れることなく。

夏の甲子園を目指す第93回全国高校野球選手権福島大会が7月13日、郡山市の開成山球場をメインに開幕。県内87チームが10日間の日程で熱戦を繰り広げた。いわき地区からは17校が出場。このうち平成12年創部のいわき光洋が今夏のいわき勢の主役となった。遠藤将大(3年)、渡辺啓太(同)の両右腕投手の好継投で守備が安定し、実力校が集まった激戦プロックを力強く勝ち上がると、

準々決勝では東日大昌平と対戦したが、歴史に名を刻む快進撃を見せた。



### ④ 震災に負けなかった完全燃焼の夏 いわき光洋が創部12年目で初の4強



少年の思いをくみ取り、交流試合への参加を快諾。学科連隊(鳥取県米子市)と地元の野球少年との交流試合が6月4日、いわきグリンスタジアムで開かれた。同スタジアムを宿营地としていた同隊は、プレーする環境を求めていた野球少年たちも「仲間と野球ができるのは自衛隊のおかげ。この状況に負けずに頑張っていきたい」と喜んだ。試合後の昼食会では、同隊が作ったおにぎりを食べながら親ばくを深めた。

### ③ 野球少年と自衛隊が野球場で交流 「いわきを助けてくれてありがとう!!」

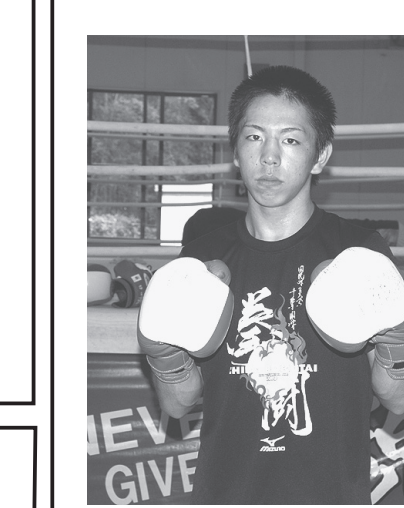
いわき市に災害派遣された陸上自衛隊第8普通科連隊(鳥取県米子市)と地元の野球少年との交流試合が6月4日、いわきグリンスタジアムで開かれた。同スタジアムを宿营地としていた同隊は、プレーする環境を求めていた野球少年たちも「仲間と野球ができるのは自衛隊のおかげ。この状況に負けずに頑張っていきたい」と喜んだ。試合後の昼食会では、同隊が作ったおにぎりを食べながら親ばくを深めた。

### ⑥ 東日本国際大が2年連続で神宮へ!! 開会式では天野主将が魂の選手宣誓

6月に東京都の明治神宮野球場などで開かれた第60回全日本大学野球選手権大会に、南東北大学野球連盟代表として東日本国際大が2年連続で出場した。開会式では、実家が福島第一原発から20キロ圏内の浪江町にある天野勝仁主将(4年)が選手宣誓。被災地の代表として「明日の日本の希望の光となるべく、全身全霊を込めてプレーすることを誓います」などと力強く宣誓した。試合は、1回戦で愛知大学野球連盟代表の愛知学院大に2-4で惜敗。初戦敗退に終わったが、震災を乗り越えてたどってきた大学野球の聖地で全力プレーを繰り広げた。



### ⑤ 高校スポーツの祭典で輝く!! ボクシングで佐久間選手が3位



7月末から8月にかけて、青森、岩手、秋田、宮城の東北4県で開催された全国高校総合体育大会(インターハイ)には、いわき地区から12競技に48人が出場した。このうちボクシング競技のバンナム級では佐久間脩太選手(勿来工業・3年)が3位と大健闘。震災の影響で出場が決まっていた3月の全国選抜大会が中止となったが、その悔しさを晴らす快進撃で3位に食い込んだ。また10月の山口国体でも同階級で3位に入り、全国舞台でダブル入賞を果たした。

### ⑨ 新・山の神、三度降臨 柏原が3年連続区間賞獲得

1月2、3の両日に開かれた箱根駅伝で東洋大の柏原竜二選手(いわき総合高卒)が三度輝いた。5区で3年連続の区間賞。復路で早稲田大にかわされ、総合3連覇こそ逃したが、新・山の神の本領を発揮した。最後の箱根では4年連続区間賞と王座奪還を目指す。



### ⑧ ボクサー細野が世界再挑戦 大みそかにベルト奪取を狙う

磐城二高出身のプロボクサーで日本フェザー級チャンピオンの細野悟選手(大橋ジムの)が12月31日、WBA世界フェザー級のタイトルマッチに挑む。判定負けした昨年1月の世界戦に続く2度目のベルトへの挑戦。横浜文化体育館でパナマのセレスティノ・カバジェロ選手と対戦する。

### ⑦ 磐城が王座を守って3連覇!! 花園では1回戦で熊本西と対戦

花園切符をかけた第91回全国高校ラグビーフットボール大会県大会が10月末から11月にを狙う第1シードの磐城が決勝で松嶺福島と激突。ダイナミックにボールも人も動くラグビーで松嶺福島を圧倒し、57-14で快勝した。磐城は12月28日の1回戦で、熊本県代表の熊本西と対戦した。

### ⑩ 高久が県内公式戦で4冠 3月に2度目の全国出場へ

高久バレーボールスポーツ少年団が県内公式戦でタイトルを総なめした。3月の県新人戦、7月の全日本小学生大会県大会、8月の東北選手権県大会、12月の県選手権で優勝。来年3月末に山形県で開かれる全国大会の出場権を手にした。